

■ 活動概要

昨年度に引き続き、2019 年度はタイムベースドメディア・プロジェクトに所属し、ジェネラティブ・ストリーミング作品の制作をメンバーと共に進めた。あらかじめパッケージ化された映像や音響の再生ではなく、生成され続けるそれらをネットワーク配信する形式の作品をジェネラティブ・ストリーミング作品と定義し、その表現の可能性を探り、プロジェクト研究発表会で2 作品を発表した。また、プロジェクトでは 舞台作品『日々《変容の対象》8 月』に取り組んだ。ピアノとサクソフォンとリアルタイム映像送出的アンサンブルによるこの映像音楽作品は OPENHOUSE 2019 での試演を経て、愛知県芸術劇場が企画する「サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2020」に選出され発表する機会を得た。

メディアアートセンター・ワーキンググループのメンバーとして岐阜おおがきビエンナーレの企画に参画し運営サポートを行った。特にシンポジウムの会場設営及びネット配信を担当した。

図書館長として附属図書館の各種運営を行った。過去の修士論文の整理を行い、2015 年度以降の修士論文アブストラクトを WEB サイトで公開した。IAMAS Library Art Space では、所蔵する木村伊兵衛写真賞の歴代受賞者による写真集を一覧する「木村伊兵衛写真賞 歴代受賞写真集展」を企画した。

国際日本文化センター共同研究「マス・メディアの中の芸術家像」に共同研究員として参加し、第 4 回研究会では基調講演「映像表現史 1968-1995 —1969 年生まれの映像作家による—」を発表した。

日本映像学会中部支部理事、ぎふ美術展企画委員、『私の関ヶ原』写真コンテスト審査員を昨年度より継続し、サカエチカ クリスタル広場(名古屋市栄)の LED ビジョンのコンテンツを提案する LED 実行委員会の運営委員も兼務した。

■ プロジェクト発表

・ IAMAS OPENHOUSE 2019

『日々《変容の対象》8 月』 by 日々《変容の対象》アンサンブル
IAMAS ギャラリー 1 (2019.07.28)

タイムベースドメディア・プロジェクトで取り組む共同制作の一つ『日々《変容の対象》8 月』は、2009 年から 2018 年の 8 月に撮影された前田真二郎の映像作品『日々“hibi” AUG』の 10 作と福島諭と濱地潤一が共同作曲した『変容の対象』の 10 曲を合わせ、ピアノとサクソフォンとリアルタイム映像送出的アンサンブルによる上演作品であり、その試演を公開で行った。



サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2020
『日々《変容の対象》8 月』 by 日々《変容の対象》アンサンブル
愛知県芸術劇場 小ホール

・ サウンドパフォーマンス・プラットフォーム 2020

『日々《変容の対象》8 月』 by 日々《変容の対象》アンサンブル
愛知県芸術劇場 小ホール (2020.02.23)

上述の IAMAS OPENHOUSE 2019 での試演を経て、さらに『日々“hibi” AUG 2019』、『変容の対象 2019 年 8 月』を追加した形で約 30 分の作品発表を行った。幅 6m の大型スクリーンと 10000 ルーメンクラスのプロジェクター、フルコンサートグランドピアノの使用といった理想的な舞台公演の機会を得て、当初から目標としていた映像と音楽がどちらにも従属しない関係での「映像音楽作品」としての上演を実現した。



タイムベースドメディア 2020 展
IAMAS 2020 プロジェクト研究発表会
ソフトピアジャパン センタービル

・ タイムベースドメディア 2020 展

IAMAS 2020 プロジェクト研究発表会
ソフトピアジャパン センタービル (2019.02.21 - 02.24)

IAMAS 2020・プロジェクト研究発表会において、タイムベースドメディア・プロジェクトの成果発表を行った。インターネット配信を前提とした作品を公開し、ガムラン・サークルの運営や舞台作品のアーカイブを展示した。

■ 企画・運営

・ 岐阜おおがきピエンナーレ 2019

IAMAS ホール A (シンポジウム) (2019.12.05 - 12.08)

メディアアートセンター・ワーキンググループのメンバーとして企画に参画し、運営サポートを行う。特にシンポジウムの会場設営及びネット配信を担当した。



岐阜おおがきピエンナーレ 2019
IAMAS ホール A (シンポジウムのネット配信)

・ 木村伊兵衛写真賞 歴代受賞写真集展

IAMAS Library Art Space (2020.01.09 -)

図書館が所蔵する木村伊兵衛写真賞の歴代受賞者による写真集を集め、それらを一望する展示を企画した。



木村伊兵衛写真賞 歴代受賞写真集展
IAMAS Library Art Space

■ 個人研究・作品制作

映像作品『日々“hibi” AUG 2019』

8月の1ヶ月間、毎日撮影を行い、1日15秒の映像を選び、それをを順番に31カット繋げる映像作品『日々“hibi” AUG』を2008年からシリーズで制作している。2020年に13年分をまとめて長編映画として完成させる計画。12作目にあたる『日々“hibi” AUG 2019』を制作した。

■ 共同研究・発表

・ 国際日本文化センター共同研究「マス・メディアの中の芸術家像」

代表：坪井秀人 (国際日本文化研究センター 教授)

松井茂 (IAMAS 准教授 / 国際日本文化研究センター客員准教授)

共同研究員として通年、研究会に参加し、下記を発表。

第4回研究会 基調講演

「映像表現史 1968-1995 —1969年生まれの映像作家による—」

IAMAS シアター (2019.12.26)



第4回研究会 基調講演
「映像表現史 1968-1995 —1969年生まれの映像作家による—」
IAMAS シアター

▪ トーク・ワークショップ

- ・ アートラボぎふ 実技講座：
写真表現とプロジェクション・マッピング
IAMAS ホール A、シアター、ギャラリー 2019.07.20

清流の国ぎふ芸術祭アート体験プログラム「アートラボぎふ」の講師を担当。
写真を映像として空間に展開する実技講座を開催した。



アートラボぎふ 実技講座：
写真表現とプロジェクション・マッピング
IAMAS ギャラリー

- ・ 『写真表現の過去・現在』石田哲朗 × 前田真二郎
セラミックパーク MINO 2019.08.31

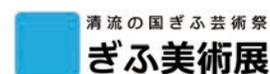
第2回ぎふ美術展の企画委員として写真部門を担当。関連イベントとして、
審査員である石田哲朗氏（東京都写真美術館学芸員）とのクロストークが
企画され、登壇した。



『写真表現の過去・現在』石田哲朗 × 前田真二郎
セラミックパーク MINO

▪ 社会活動

- ・ 日本映像学会中部支部理事
- ・ ぎふ美術展企画委員
- ・ 『私の関ヶ原』写真コンテスト 2019 審査員
(岐阜県主催 春夏部門・秋冬部門)
- ・ LED. 実行委員会 運営委員



IAMAS 在学生による LED ビジョン・コンテンツ
サカエチカ クリスタル広場（名古屋市長）